

再エネ海域利用法に基づく区域指定の状況について（北海道松前沖及び檜山沖）

- 本年7月30日付で、北海道松前沖及び檜山沖の2区域について、北海道初となる促進区域への指定を実施。
- 両区域を合計した場合の想定出力は、最大で約146万kW。

促進区域指定の図面



北海道松前沖



北海道檜山沖

区域名	万kW※1		供給価格※2 (円/kWh)	運開年月	選定事業者構成員	<導入目標>【】内は全電源の電源構成における比率 現状：風力全体4.5GW【0.9%】 (うち洋上0.01GW) 2030年：風力全体23.6GW【5%】 (うち洋上5.7GW【1.8%】) <洋上風力案件形成目標> 2030年 10GW／2040年 30-45GW <洋上風力国内調達比率目標（産業界目標）> 2040年 60% 【凡例】 ●促進区域 ●有望区域 ●準備区域 ●GI基金実証海域（浮体式洋上風力）
促進区域	①長崎県五島市沖（浮体）	1.7	36	2026.1	戸田建設、ERE、大阪瓦斯、関西電力、INPEX、中部電力	※2 ①～④はFIT制度適用のため調達価格。 ⑤～⑩はFIP制度適用のため基準価格。
	②秋田県能代市・三種町・男鹿市沖	49.4	13.26	2028.12	三菱商事洋上風力、三菱商事、C-Tech	
	③秋田県由利本荘市沖	84.5	11.99	2030.12	三菱商事洋上風力、三菱商事、C-Tech、ウエンティ ジャパン	
	④千葉県銚子市沖	40.3	16.49	2028.9	三菱商事洋上風力、三菱商事、C-Tech	
	⑤秋田県八峰町・能代市沖	37.5	3	2029.6	ERE、イベルドローラ・リニューアブルズ・ジャパン、東北電力	
	⑥秋田県男鹿市・潟上市・秋田市沖	31.5	3	2028.6	JERA、電源開発、伊藤忠商事、東北電力	
	⑦新潟県村上市・胎内市沖	68.4	3	2029.6	三井物産、RWE Offshore Wind Japan 村上胎内、大阪瓦斯	
	⑧長崎県西海市江島沖	42.0	22.18	2029.8	住友商事、東京電力リニューアブルパワー	
	⑨青森県沖日本海（南側）	61.5	3	2030.6	JERA、グリーンパワーインベストメント、東北電力	
	⑩山形県遊佐町沖	45.0	3	2030.6	丸紅、関西電力、BP Iota Holdings Limited、東京瓦斯、丸高	
有望区域	⑪北海道松前沖	25～32				
	⑫北海道檜山沖	91～114				
	⑬北海道石狩市沖	91～114				
	⑭北海道岩宇・南後志地区沖	56～71				
	⑮北海道島牧沖	44～56				
準備区域	⑯千葉県銚子市沖	50				
	⑰千葉県九十九里沖	40				
	⑱千葉県いすみ市沖	41				
	⑳北海道岩宇・南後志地区沖（浮体）	㉔東京都三宅村沖（浮体）				
	㉑北海道島牧沖（浮体）	㉕東京都八丈町沖（浮体）				
GI基金実証海域	㉒青森県陸奥湾	㉖富山県東部沖（浮体）				GI基金実証海域 ①秋田県南部沖 ②愛知県田原市・豊橋市沖
	㉓岩手県久慈市沖（浮体）	㉗福井県あわら市沖				
	㉔秋田県秋田市沖	㉘和歌山県沖（東側）				
	㉕東京都大島町沖（浮体）	㉙和歌山県沖（西側・浮体）				
	㉖東京都新島村沖（浮体）	㉚福岡県響灘沖				
	㉗東京都神津島村沖（浮体）	㉛佐賀県唐津市沖				
	㉘東京都三宅村沖（浮体）	㉜和歌山県沖（東側）				
	㉙東京都八丈町沖（浮体）	㉝和歌山県沖（西側・浮体）				
	㉚福岡県響灘沖	㉞東京都大島町沖（浮体）				
	㉛佐賀県唐津市沖	㉟東京都新島村沖（浮体）				